

平成22年 4月 1日
住友生命保険相互会社

平成22年度入社式 社長あいさつ（抜粋）

住友生命保険相互会社（社長 佐藤義雄）は262名（総合職員210名、一般職員52名）の新入職員を迎え、4月1日に入社式を行いました。以下に社長あいさつの要旨を紹介します。

ダイナミックな新陳代謝を

会社は「ゴーイング・コンサーン」、つまり社会的公器としてお客さま、世の中のために事業を続けていく使命がある。当社も一世紀の時を超えて発展し続ける「百年企業」の一員だが、旧態依然とした事業を漫然と続けてきたわけではなく、気鋭の人材が次々と育ち、常にビジネスの新陳代謝を起こしてきた。こうしたダイナミックな新陳代謝こそが会社を永続的に発展させていく原動力である。皆さんもそういう人材に育ってほしい。

「あたらしく」を「あしたらく」へ

新入社員の「新」をひらがなにした「あたらしく」という言葉を入れ替えると「あしたらく」すなわち「明日楽」という言葉になる。

生命保険事業はお客さまの人生をリスクから守るという重要な役割を担っている。遺族保障に加えて医療や介護の保障、さらには年金等を通じた老後生活資金の資産形成等の面でお客さまのお役に立ち、お客さまが安心して「明日を楽しく生きる」姿を実現しよう。

また、「明日楽」は一人ひとりが仕事に臨む時の心構えにも通じる。はたらく『らく』を忘れず、「仕事を楽しむ」という姿勢は、仕事を通じて成長するためにも、豊かな人生を送るためにも重要なポイントである。

新入職員の皆さんへの期待：「始める勇気、取組む本気、続ける根気」

「始める勇気」：難しい問題、初めてぶつかる問題に逃げずに勇気をもって正面から挑む。

「取組む本気」：評論家や傍観者は会社には必要ない。本気で取り組み、実行する。

「続ける根気」：緊張感をもって結果を追い求め、常に状況をチェックし改善策を打ち続ける。

おわりに ～住友生命を舞台に花を咲かせる～

皆さんには当社の横を流れる隅田川の堤の上で咲き誇る桜のように、住友生命という舞台の上で大きな花を咲かせてほしい。

皆さんへの期待をこめて、一つの詩の言葉を送る。「花は一瞬にして咲かない。大木も一瞬にして大きくはならない。一日一日の積み重ねの上に、その栄光を示すのである」（坂村真民）
皆さんのご活躍を祈念する。

以 上